

学校教育計画

4年間の目標と主な方策（令和2年度～令和5年度）

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・SSHの取組を充実させ、文理に関わらない問題解決能力の育成を図る。 ・令和4年度から年次進行で始まる新教育課程に向けて、生徒に最適な教育課程の編成を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科『SS希望』の発展に向け、全職員体制で取り組む。 ・生徒の実態を把握し、生徒の進路実現に合わせた教育課程の編成にあたる。 ・生徒主体の生徒会活動を継続し、社会に貢献できる人材の育成を図る。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒主体の生徒会活動を継続し、社会に貢献できる人材の育成を図る。 ・前4年間で構築した教育相談体制をさらに発展させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒主体の生徒会活動を継続し、社会に貢献できる人材の育成を図る。 ・平成31年度から実施した『気になる生徒会議』を充実させ、問題の早期発見を図る。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動やSSHの取組を活用し、新入試に対応した進路指導體制を構築する。 ・自分の将来を見据え、妥協のない進路選択ができるよう、個別指導を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入試における変更点などを研究し、本校の進路指導にあった対策を検討する。 ・LHRを活用した計画的な進路指導や、定期的な面談を活用し、生徒の希望や活動状況を把握し、指導體制を構築する。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域、同窓会等の共同を進め、開かれた学校作りのさらなる発展を進める。 ・SSHの活動を他の教育機関や地域との連携を進め、コンソーシアムの構築を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションツールの活用を進め、情報発信を積極的に進める。 ・SSHの活動を中心とした他の教育機関との取組を発展させ、さらなる連携と新たな連携を展開する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革に向けて、コミュニケーションツールの活用など業務の効率化を図る。 ・社会から新たに要求される様々な教育ニーズに対応できる教員指導力の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容を精選し、ICTの活用を積極的に推進する。 ・ICT技術や新たな教育手法などの研修会、また事故防止に向けた研修会を積極的に行う。